

- 皆さんは、ユネスコが示した「国際セクシュアリティ教育ガイダンス」をご存じですか。このガイダンスでは、一人一人が自分らしい幸福な人生を実現することを目指し、5歳からの発達段階に応じたセクシュアリティに関する教育目標が示されております。
- 県立学校におきましては、昨年度から、生徒や教職員のセクシュアリティに関する理解を深めて、一人一人が自分らしく生きていくことができるように「セクシュアリティ教育講演会」を実施しております。
- 講演内容は、2つございまして、1つ目は「性的指向・性自認などの性の多様性の理解に関するもの」と、2つ目にですね、「身体と心の変化と性行動や男女の相互理解などに関するもの」この、2点のテーマに応じて講師を招聘して、実施しております。
- 先日、三次高等学校の定時制におきましても、「自分らしく生きる～こころもからだもいろいろ、彩り豊かでええじゃん」というのをテーマに講演会が実施されました。生徒たちは、自分自身を振り返るとともに、「自分らしくいいんだ」と自信を持つことができたと聞いております。
- 昨年度は、のべ30校が実施いたしまして、今年度も30校程度実施する予定でございまして、生徒は3年もしくは4年の高校生活を送るわけですが、そのうちで1回は受講できるよう取組を進めております。
- あわせて、広島県教育委員会では、24時間子供SOSダイヤルやエソール広島のLGBT電話相談の窓口を記載したカードを県内全ての児童生徒一人一人に配付いたしまして、悩みをもつ子供の相談体制の構築を図っております。
- 今後も、一人一人が自己及び他者の価値を認め、尊重し、一人一人が自分らしく生きていくことができることを目指し、取組の充実を図ってまいりたいと考えています。

- また、6月はLGBTQのプライド月間にもなります。ぜひともまた取材をしていただきたいというふうに思います。よろしくお願いします。

- 説明は以上です。